

### (1) 課題の内容 テーマ「22世紀の和装」

- 着物を使用し、モデルにテーマに沿ったヘア、メイク、着付をする
- トrendを取り入れた着付アレンジを競技する
- ヘア、メイク、着付のトータルバランスとアイディア、作品力を評価する
- 帯は名古屋帯、袋帯、半幅帯のいずれかを使用する

### (2) 競技規定

- 競技者は3人までのチームでヘアセット・メイク・着付を行う（1人で行っても良い）
- ※ヘアセットの選手、メイクの選手、着付の選手の3人までの参加可
- ※着付は必ず1人で行うこと
- モデルは人体とし、プロ・アマは問わないが、SNS や雑誌などに掲載可能であること
  - 競技者はマスク着用。モデルもメイク時以外はマスクやマウスシールドを着用。撮影時は外す

### (3) 競技時間

- 規定なし

### (4) 競技用具の準備 (選手が準備するもの) (参考までに掲載する)

- ① (小紋、付け下げ、訪問着、振袖、袴 等)
  - ② 帯 (名古屋帯、袋帯、半幅帯、いずれかを使用する)
  - ③ 履物 (草履や靴など、外を歩けるもの)
  - ④ 長襦袢 (長襦袢でなくても、代わりになるようなものであれば良い)
  - ⑤ 帯締め、帯あげ
  - ⑥ ヘア用具一式
  - ⑦ 化粧品一式
  - ⑧ 衣裳敷き
  - ⑨ 衣装箱
  - ⑩ 小物付属品
- 肌着、足袋 (和装用で無くても良い。) 補正用タオルやガーゼ
- ・腰紐・帯枕・仮ひも (変わり結び用) ・帯板 ・クリップ ・伊達巻 2本
- ・ボディ補正用具・前帯板と後ろ帯板・クリップ類・伊達巻き 2本

### (5) ヘア・メイクに関する注意事項

- ① 髪飾りやヘアピースの使用可
- ② つけまつげ、エクステ等、規制なし。

### (6) 撮影時の注意点

- 作品の背景は、審査がしやすいように明るく、スッキリした場所で撮影すること
- 作品がぼやけていたり、影ができてると細かい部分の審査ができないので注意すること
- カメラの角度が傾いていると、作品のバランスが悪くみえてしまうので注意すること
- 指定されたアングルを撮影すること (6アングル) ※撮影アングル例を確認